



ペットについての調査レポート

2009/8/11

株式会社ネットマイル
<http://research.netmile.co.jp/>

※本レポートについて、当社の許可なく無断転載・複写を禁じます。また、本レポートにかかわる損害賠償の責を一切負いません。
本レポートの転載、および一部引用が必要な場合には、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

ペットについての調査レポート

2009/8/11

調査概要

調査タイトル:	ペットについてのアンケート
調査手法:	インターネットリサーチ(ネットマイル会員による回答)
調査票種別:	Easyリサーチ
実施期間:	2009/7/24 17:03 ~ 2009/7/24 22:24
回答モニタ数:	600

ネットマイルではペットについて、2009年7月24日にアンケート調査を実施した。回答者の状況は「男性」が53.0%、「女性」が47.0%。年代は「20代以下」が17.0%、「30代」が32.7%、「40代」が30.0%、「50代以上」が20.3%。婚姻状況は「未婚」が42.5%、「既婚」が57.5%。居住地域は「北海道・東北地区」が8.8%、「関東地区」が43.7%、「北陸・甲信越地区」が6.2%、「東海地区」が12.2%、「近畿地区」が14.2%、「中国地区」が4.3%、「四国地区」が2.2%、「九州・沖縄地区」が8.5%であった。

回答の結果から、ペットを標準的な体型にするために大事なものは、人間と同じものではなくペット自身にあった食事内容と規則正しい食生活であることがわかった。そして、ダイエットをおこなう場合は、カロリーなどに配慮したダイエット食を用いるよりも食事量・回数のコントロールのほうが効果的なようだ。

また、ペットに対して求めることでは“癒し”や“安らぎ”が多いという結果であった。

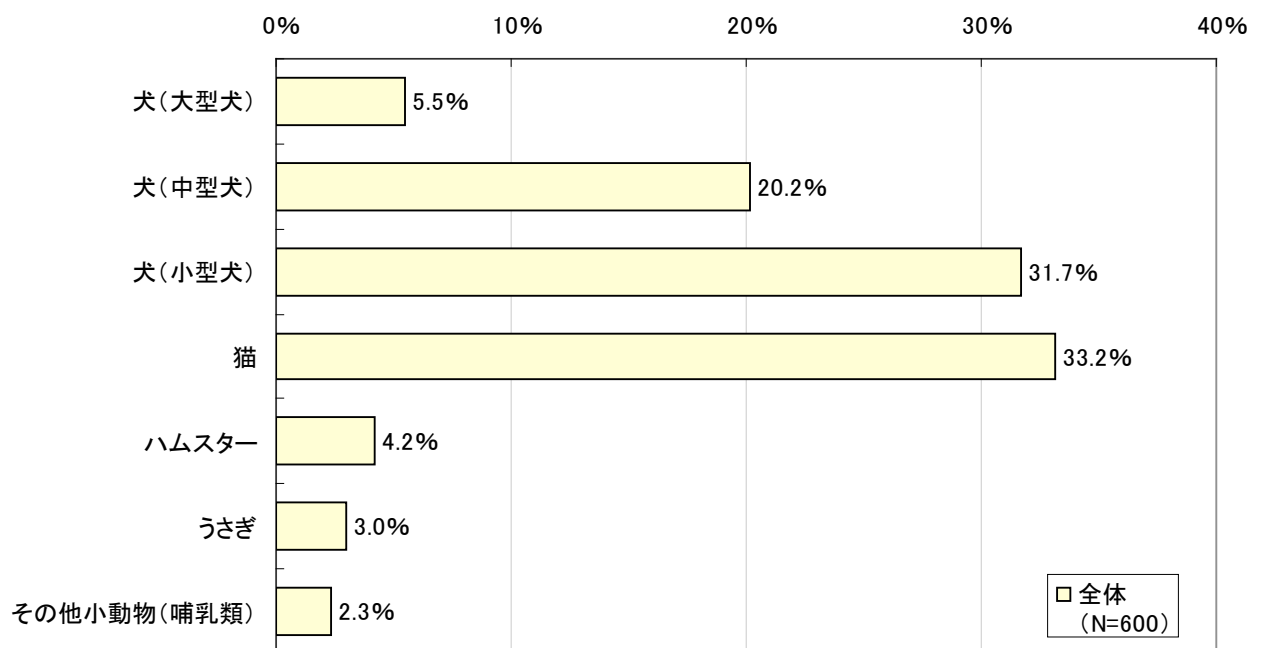
以下、それぞれの回答結果についてレポートする。

犬を飼っている人が半数以上を占める

「あなたが飼っているペットの種類をお答えください。複数のペットをお飼いの場合は、一番気に掛けているなど、1匹のペットを特定し、そのペットの種類をお答えください。」という質問をおこなった。全体では、「犬(大型犬)」が5.5%、「犬(中型犬)」が20.2%、「犬(小型犬)」が31.7%、「猫」が33.2%、「ハムスター」が4.2%、「うさぎ」が3.0%、「その他小動物(哺乳類)」が2.3%となった。大型犬・中型犬・小型犬をあわせた“犬”を飼っている人は57.4%であった。

また、その他の回答では、「フェレット」「デグー」「フクロモモンガ」などがあげられた。

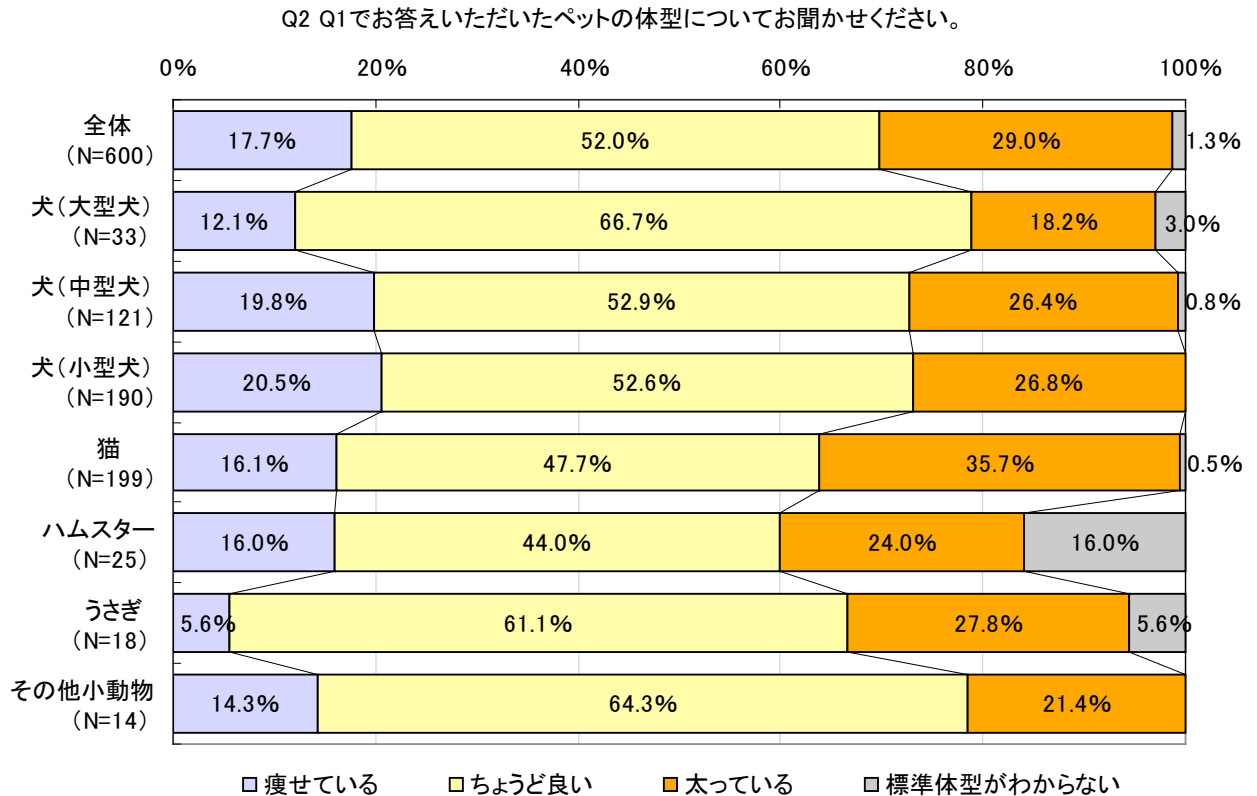
Q1 あなたが飼っているペットの種類をお答えください。複数のペットをお飼いの場合は、一番気に掛けているなど、1匹のペットを特定し、そのペットの種類をお答えください。



“太っている” ペットは3割程度

「Q1でお答えいただいたペットの体型についてお聞かせください。」という質問をおこなった。全体では、「痩せている」が17.7%、「ちょうど良い」が52.0%、「太っている」が29.0%、「標準体重がわからない」が1.3%で、標準的な体型のペットが半数以上であった。

Q1で回答したペットの種類別に“太っている”の回答を見てみると、「大型犬」では18.2%、「中型犬」では26.4%、「小型犬」では26.8%、「猫」では35.7%、「ハムスター」では24.0%、「うさぎ」では27.8%、「その他小動物」では21.4%と、太っている割合は「猫」が最も高くなった。

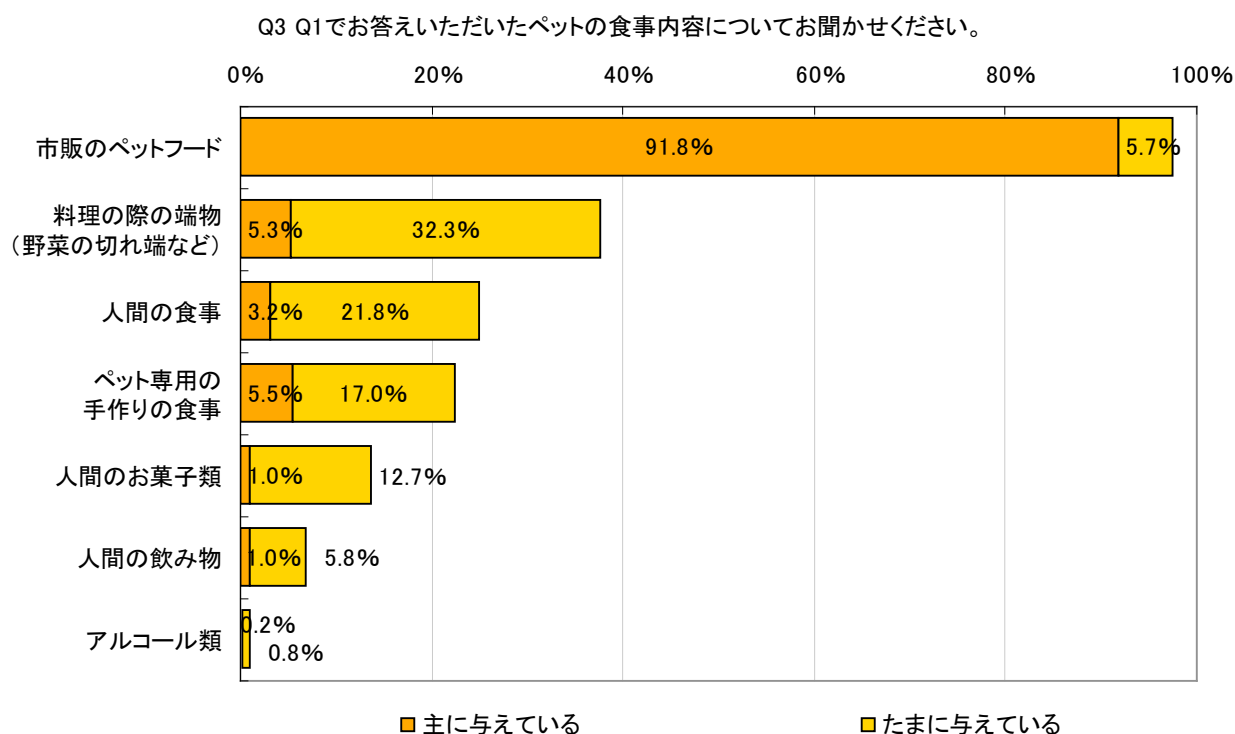


“太っている” ペットは人間のお菓子類を与えられる割合がやや高い傾向

「Q1でお答えいただいたペットの食事内容についてお聞かせください。」という質問を【市販のペットフード】【料理の際の端物(野菜の切れ端など)】【人間の食事】【ペット専用の手作りの食事】【人間のお菓子類】【人間の飲み物】【アルコール類】の7項目について、「主に与えている」から「まったく与えていない」の4段階評定でおこなった。

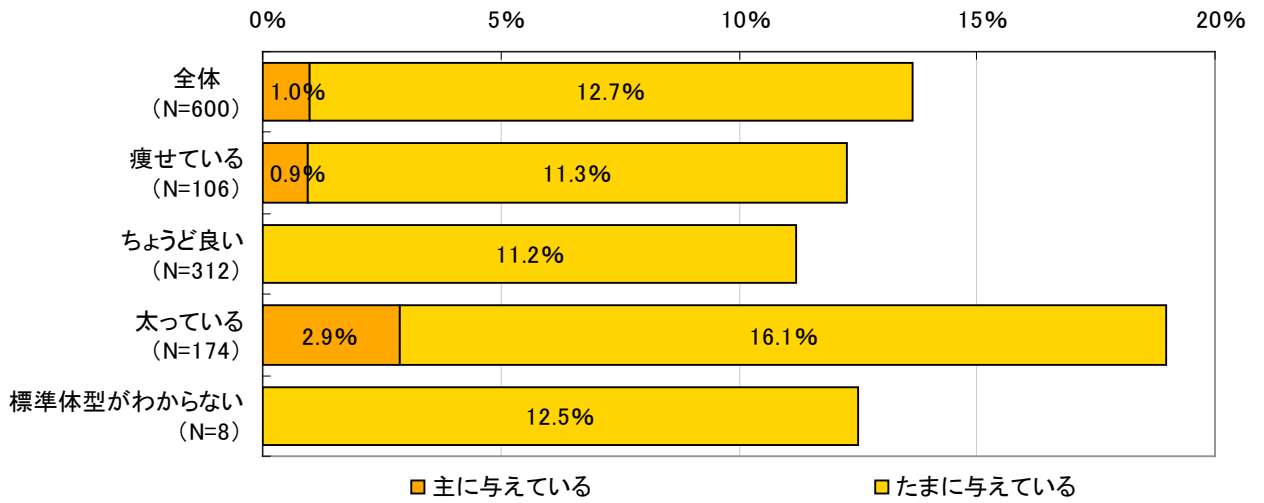
「主に与えている」と「たまに与えている」をあわせた“与えている”の回答を全体でみると、【市販のペットフード】が97.5%、【料理の際の端物(野菜の切れ端など)】が37.6%、【人間の食事】が25.0%、【ペット専用の手作りの食事】が22.5%、【人間のお菓子類】が13.7%、【人間の飲み物】が6.8%、【アルコール類】が1.0%であった。

また【人間のお菓子類】の“与えている”の回答について、Q2で聞いたペットの体型別に見てみると、「痩せている」では12.2%、「ちょうど良い」では11.2%、「太っている」では19.0%と、「太っている」ペットは人間のお菓子を与えられている割合が若干高かった。



“太っている”ペットは人間のお菓子類を与えられる割合がやや高い傾向

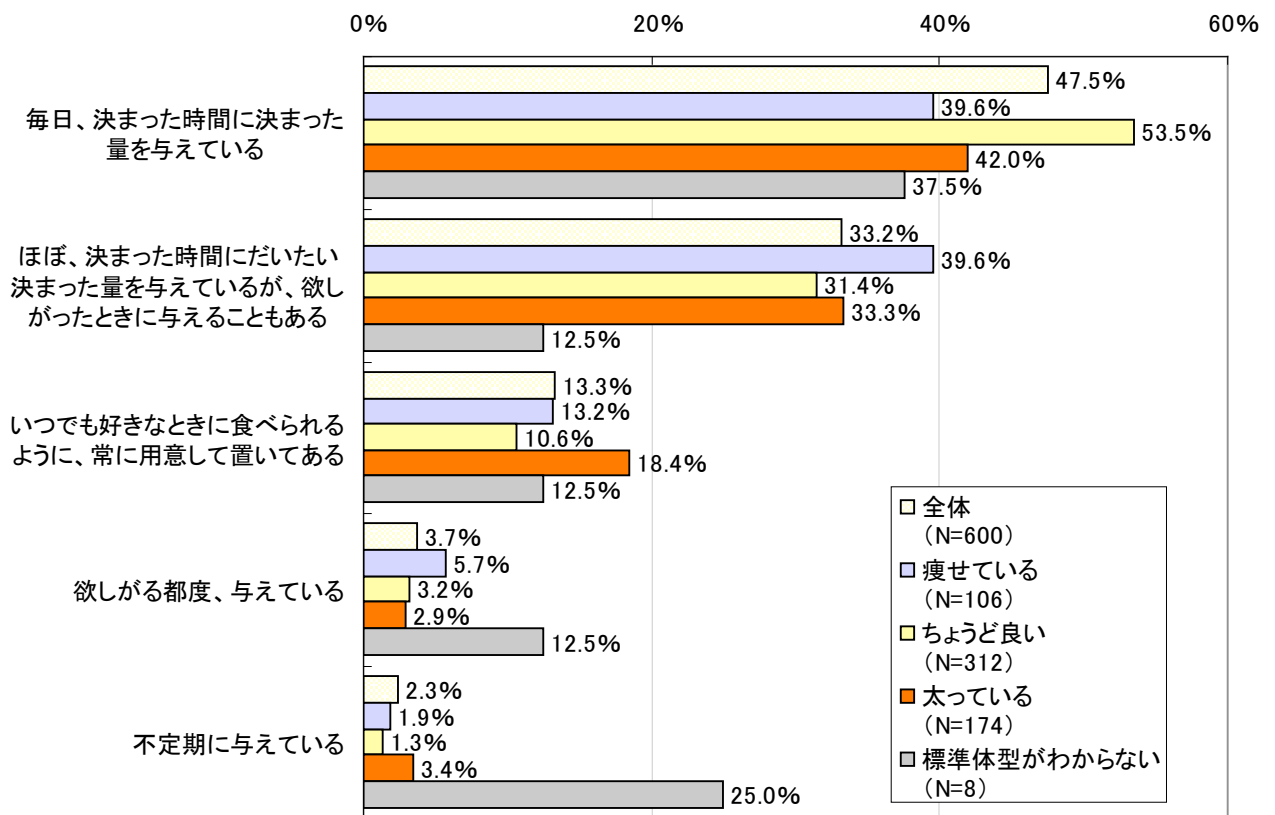
Q3 Q1でお答えいただいたペットの食事内容についてお聞かせください。
人間のお菓子類



ほぼ半数のペットが規則正しい食生活を送っている

「Q1でお答えいただいたペットへの食事の与え方についてお聞かせください。」という質問をおこなった。全体でみると、「毎日、決まった時間に決まった量を与えている」が47.5%と最も高く、次いで「ほぼ、決まった時間にだいたい決まった量を与えているが、欲しがったときに与えることもある」が33.2%、「いつでも好きなときに食べられるように、常に用意して置いてある」「欲しがると度、与えている」「不定期に与えている」は2割を下回る結果となった。Q2で聞いたペットの体型別に見てみると、「毎日、決まった時間に決まった量を与えている」ではちょうど良い体型のペットが53.5%と突出しており、「いつでも好きなときに食べられるように、常に用意して置いてある」では、太っているペットが18.4%とやや高くなっている。

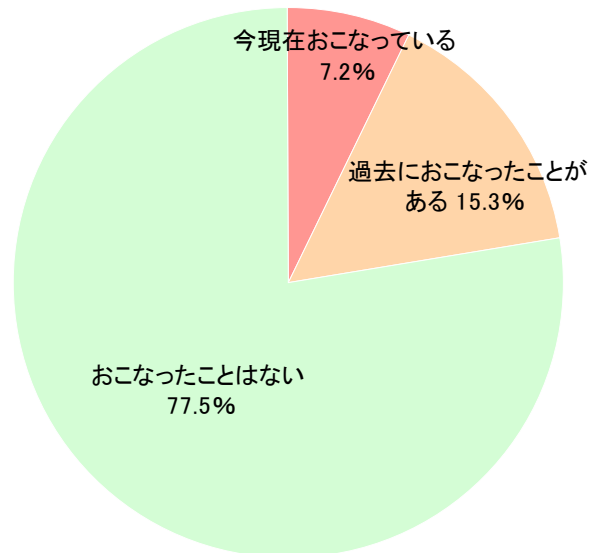
Q4 Q1でお答えいただいたペットへの食事の与え方についてお聞かせください。



ダイエット経験のあるペットは2割ほど

「Q1でお答えいただいたペットのダイエットをおこなったことがありますか？」という質問をおこなった。全体では、「今現在おこなっている」が7.2%、「過去におこなったことがある」が15.3%、「おこなったことはない」が77.5%と、ダイエット経験のあるペットは2割程度であった。

Q5 Q1でお答えいただいたペットのダイエットをおこなったことがありますか？



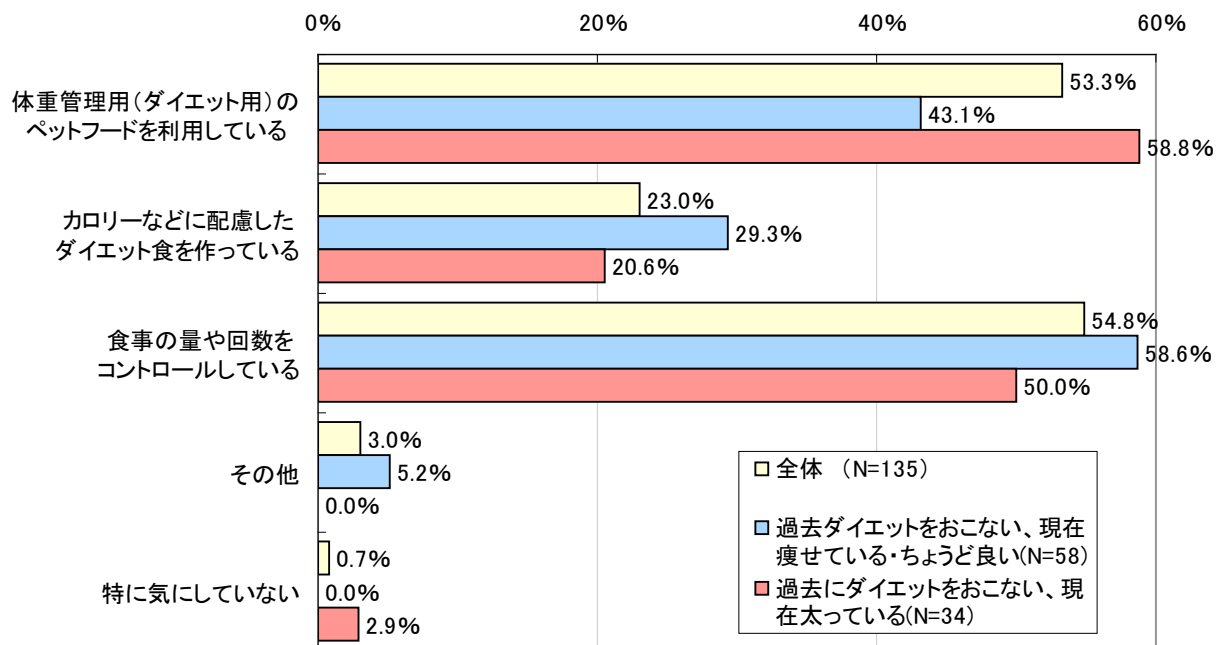
食事量・回数のコントロールと体重管理用ペットフードの利用が半数以上

Q5のダイエットをおこなったことがあるかの質問で「今現在おこなっている」、「過去におこなったことがある」と回答した135名を対象に、「あなたはペットのダイエットのためにどのように食事を与えていますか？あてはまるもの全てお答えください。」という質問を複数回答でおこなった。

全体では、「体重管理用(ダイエット用)のペットフードを利用している」が53.3%、「カロリーなどに配慮したダイエット食を作っている」が23.0%、「食事の量や回数をコントロールしている」が54.8%、「その他」が3.0%、「特に気にしていない」が0.7%であった。

またQ5のダイエット経験を聞いた設問で「過去におこなったことがある」と回答した92名に焦点をあて、現在のペットの体型別にみても、「過去ダイエットをおこない、現在痩せている・ちょうど良い」では「食事の量や回数をコントロールしている」が58.6%と最も高い。一方、「過去にダイエットをおこない、現在太っている」では「体重管理用(ダイエット用)のペットフードを利用している」が58.8%で最も高くなっていることから、食事内容よりも食事量・回数のコントロールを重視することにペットのダイエット成功の要因があると推察される。

Q6 あなたはペットのダイエットのためにどのように食事を与えていますか？
あてはまるもの全てお答えください。



ペットに求められるのは、“癒し”と“やすらぎ”

「あなたがペットに求めることは何ですか？あてはまるもの全てお答えください。」という質問を複数回答でおこなった。全体では、1位が「いやされたい」で64.7%、2位が「やすらぎを感じてたい」で52.0%、3位が「楽しさを感じたい」で39.2%、4位が「愛着を持ちたい(ペットに愛情を注ぎたい)」で38.0%、5位が「ペットと暮らすことでゆとりを感じたい」で33.7%であった。Q1で回答したペットの種類別に特徴的な項目をみると、「大型犬」と「うさぎ」は「やすらぎを感じてたい」が他のペットより高くなっている。「ハムスター」は「いやされたい」が80.0%と突出して高いが、「心を通じ合いたい」「ペットと共に成長したい」「ペット仲間と仲良くなりたい(仲間になりたい)」では最も低くなっている。「大型犬」「うさぎ」には“癒し”より“やすらぎ”が求められ、「ハムスター」に求められているのは“癒し”で、“心の交流”や“ペットを介した仲間との交流”などは求められていないようだ。

ペットに求められるのは、“癒し”と“やすらぎ”

Q7 あなたがペットに求めることは何ですか？あてはまるもの全てお答えください。
(上位 10位)

